

平成27年度進行管理・評価シート
佐川町歴史的風致維持向上計画（平成21年3月11日認定）

（最終変更平成26年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 庁内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催	1
------------------------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 政策との連携による今後の措置	2
------------------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 まちの駅活性化事業(協議会活動助成事業)	3
2 牧野公園整備事業	4
3 標識整備事業	5
4 歴史的風致建造物事業化検討調査 (竹村分家旧竹村呉服店)	6
5 歴史的風致建造物事業化検討調査 (司牡丹1号蔵)	7
6 竹村分家旧竹村呉服店修復・保存事業	8

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 文化財の保存・活用について	9
文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について	
2 文化財の保存及び活用の普及・啓発について	10
3 文化財の防災について	11
4 埋蔵文化財の取扱いについて	12
5 文化財の修理について	13
文化財の保存・活用を行うための施設について	
文化財の周辺環境の保全について	

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1 「探偵小説の父」しのぶ	14
2 笑顔広がる観光地に	14
3 西谷退三の蔵書展示	14
4 佐川の魅力 手拭いに	14
5 町長が小中生に論語塾	14
6 観光客25%増	14
7 牧野公園で植物学	15
8 8月19日ちなみ 風情ある俳句会	15
9 住民育てた苗 牧野公園に	15
10 佐川の恵み 味わって	15
11 光の芸術にうっとり	15
12 佐川ゆかりの先人紹介	15

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1 歴史的風致維持向上計画重点区域の観光客数推移について	16
------------------------------	----

□法定協議会等におけるコメント(様式4)

1 法定協議会等におけるコメント	17
------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	平成27年度
		現在の状況	
庁内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	佐川町歴史的風致維持向上計画を円滑かつ着実に遂行するために、計画推進体制(事務局と審議組織との連携)を強化し、歴史的風致維持向上計画協議会の活動をサポートしていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
円滑な事業推進を図るため、庁内会議(チーム佐川推進課、産業建設課、教育委員会事務局)を5回、佐川町歴史的風致維持向上計画協議会を3回開催、また、同協議会が佐川町と同様に酒蔵のまちなみを活用した取組をおこなっている東広島市の西条の視察研修を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		平成27年度は、庁内会議、協議会共に、竹村分家旧竹村呉服店の活用方法について、数度に渡り協議を重ね、時間を費やした。その意味では、活発な論議が尽くされたと言える。課題としては、庁内会議を構成する3部署が更に横断的な連携強化を図ることにある。	
状況を示す写真や資料等			
		庁内会議 (チーム佐川推進課、産業建設課、教育委員会事務局)	
庁内会議の様様		平成27年 4月 7日 平成27年 8月24日 平成27年10月 1日 平成27年11月 4日 平成27年11月 9日	
		佐川町歴史的風致維持向上計画協議会	
第3回協議会の模様		第1回(平成27年9月1日) ◇報告事項 ・旧浜口家住宅の歴史的風致形成建造物の指定について ・旧浜口家住宅の国登録有形文化財の登録について ・歴史まちづくり事業の進捗状況について ◇協議事項 ・竹村分家旧竹村呉服店の活用方法について 第2回(平成27年10月8日) ◇報告事項 ・竹村分家旧竹村呉服店の耐震改修設計について ◇協議事項 ・竹村分家旧竹村呉服店の活用方法について(再議) 第3回(平成27年11月9日) ◇協議事項 ・竹村分家旧竹村呉服店の活用方法について(再々議) ・当協議会活動について	
		東広島市西条視察研修(平成28年3月17日) ・西条酒蔵通りの視察	

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成27年度
		現在の状況	
政策との連携による今後の措置		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
計画に記載している内容	街なみ景観条例は、平成5年度から10年間実施した街なみ環境整備事業に対応して策定したものであり、歴史的風致維持向上計画に合致した内容となっていないという問題点がある。そのため、今後においては、景観法に基づく景観計画及び景観条例の策定をめざすことにより、歴史的風致に合致した街なみ景観の維持向上を図ることとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年3月31日に認定を受けた変更計画で、「政策との連携による今後の措置」を新しく加えた。これにより景観計画及び景観条例の策定をめざすこととなり、昨年度の進捗評価シートには平成28年度から2～3年のスパンで策定する予定と記載したが、まず平成28年度は計画策定に向けての土壌づくりとして、住民ヒアリング等の調査作業をおこなう予定である。なお、平成27年度の取り組みについては、これも同様に昨年度のシートに記載したが、歴史まちづくり担当が第5次総合計画策定の担当を兼ねていたことから、当該策定の最終年度となった昨年度は、そちらの業務に大半を割かれ、具体的な取り組みに至らなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		住民に一定の規制が掛かることから、合意形成を図るために、ねばり強く話し合いを持つ必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	本町の歴史まちづくりは、対外的にまだ認知度が低いことから、現有及び新作の啓発素材を活用して、更に周知を図っていく。また、同協議会委員の意識を更に高めていく取り組みが必要となる。

高知県 佐川町 竹村分家旧竹村呉服店

■竹村分家(旧竹村呉服店)の歴史

竹村家は平田(現在重要文化財建造物)の西側に位置するこの町屋は、かつて「山」の部を治めた竹村分家旧竹村呉服店の店舗跡に定まっている。竹村分家の竹村親房の初代は安永御守で、安永六年(1777)に竹村家から分離し、高知は親戚本家へ、次期に呉服屋へと商売を発展させた。三代目安永守の道には、土佐藩奥平で唯一の機織りとして繁栄した。その父が「読蘭」住居を別荘として内邸を建設させた立派な家を築いた。したがって、竹村家建築により伝えられている。(関連参照：『南瀬越前町工務所』(昭和7年(1932))にも現在とほぼ同じが紹介されている。

敷き瓦
和様(店構)とこの表裏がつながっており、とても珍しい建て方である。共に懸は白漆喰仕上げで葺き込まれた。薪焼は各段目状の一文字目。表裏は美形石の貼満目地となっている。又、表裏の壁と窓上には、半切瓦二枚造りで設けられていて、

縁起板つし二階の銅板張りの扉
初様のつし二階には、二方面の両があり、耐火性を考慮し銅板張りとなっており、扉にはこの状態(半開き)で止める金具が付く。つし二階の裏面が考慮されている。

薪焼の透燻仕上げの扉
裏側は二階建てとなっており、各階に異なる。即火と即閉を考慮し、隙間にはかなり重なるが壁と同じ深みの透燻仕上げとし、さらに鉄格子が施されている。

薪焼の水切瓦
裏側の壁には、のし瓦や水切りに取り替わり、瓦の継ぎ目を隙間で補填して仕上げる「水切瓦」が設けられる。破損している箇所の古い溝を浅く作り直しに換えてある。



リーフレット裏面



東広島市視察風景



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
		現在の状況	
牧野公園整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成21年度～平成30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	牧野富太郎博士の顕彰を図るために、牧野公園に遊歩道の整備と博士由来または縁の深い植物並びに秋期も楽しめる紅葉樹を植栽し、憩いと学習の場として公共公益施設の高質化を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度に公園内通路の舗装及び排水計画について詳細設計を実施し、改良工事に着手した。平成28年度での完了を目標として施工中。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	牧野博士に由来する植物の植栽や雨天時の利用者の安全確保の観点から、植物の生育環境の配慮や降雨時に利用しやすい公園にするため、整備には雨水対策が必要となった。その対策を検討し、遊歩道の舗装整備に反映するようにするため、事業期間を延長する。		
状況を示す写真や資料等			
 降雨時には川のように雨水が遊歩道を流れている  改良工事 完了箇所			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
標識整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	平成25年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	国道33号及びJR佐川駅から重点区域への誘導を円滑にするとともに、歴史的風致の啓発に資するために、各所に標識及び説明板を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
設置場所・工法等の選定が難航し、標識及び説明版の設置に至らなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		設置場所・工法等の未決事項について、関係者協議の必要がある。事業期間を平成28年度に延長し、道路管理者及び隣接地権者を含めた関係者協議を進め、早期の事業着手・完了を目指す。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
		現在の状況	
歴史的風致建造物事業化検討調査(竹村分家旧竹村呉服店)		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～27年度		
支援事業名	※町単独事業		
計画に記載している内容	上町地区の歴史的風致建造物(竹村分家旧竹村呉服店)について、耐震対策を含めた事業化の検討を行う		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統建築物調査研究業務として、委託業務を発注し、概算費用の算定を行った。平成27年度に関係者協議を実施し、事業化の検討を行った結果、耐震改修設計及び改修工事の着手に至った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		改修後の利用計画について、関係者協議を行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
 竹村分家旧竹村呉服店			
 調査研究業務成果品			
 業務内容の検討・協議			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
		現在の状況	
歴史的風致建造物事業化検討調査(司牡丹1号蔵)		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～27年度		
支援事業名	※町単独事業		
計画に記載している内容	上町地区の歴史的風致建造物(司牡丹1号蔵)について、耐震対策を含めた事業化の検討を行う		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統建築物調査研究業務として、委託業務を発注し、概算費用の算定を行った。平成27年度に関係者協議を実施し、事業化の検討を行った結果、司牡丹1号蔵煙突の耐震設計に平成28年度から着手することとなった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		司牡丹1号蔵については、民間所有であるため、耐震化の事業費負担の問題や改修後の利用計画について、協議を行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
司牡丹1号蔵			
			
調査研究業務成果品			
			
業務内容の検討・協議			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
		現在の状況	
竹村分家旧竹村呉服店修復・保存事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～28年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	竹村分家旧竹村呉服店の修復及び保存をおこなうことで、佐川町の歴史的まちなみを構成する重要な歴史的建造物として一般公開を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度に耐震改修設計及び改修工事に着手し、平成28年度での完了を目標として施工中。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	改修後の利用計画について、関係者協議を行う必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
 竹村分家旧竹村呉服店			
 耐震補強確認			
 外壁耐震補強			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目			現在の状況
文化財の保存・活用について 文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載 している内容	現在、文化財の保存活用に携わる団体は積極的かつ地道な活動を展開しており、まちづくり行政等との連携も十分とれている。 今後も、こうした活動の前進を更に目指し、行政との連携も一層強化する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内に移築された名教館では、佐川が輩出した偉人のパネルを展示し、文教の町佐川をPRした。また、歴史学講座、高知大学出前公開講座、佐川高校地域学習等を開催し、ふるさと学習及び人材の育成に努めた。国の登録有形文化財建造物に登録された旧浜口家住宅では、苔玉作りや生け花と抹茶のおもてなし等多様なイベントが開催された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		NPO法人、観光協会は定期的にイベントを開催しており、集客数は増加傾向である。しかしながら町全体の文化財についてはPR不足なので、今後も観光ボランティア、観光協会と連携し、活発な情報配信と文化財の活用を図りたい。	
状況を示す写真や資料等			



佐川高校地域学習 H27.10.8 名教館玄関



子ども論語教室 H27.6.28 名教館



▲高知大学出前公開講座 H27.10.8 名教館



▲浜口さんちの秋祭り H27.10.10～10.11 旧浜口家住宅

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
		現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の価値を町民がより理解し、保存や活用の意識を高めるため、学校教育では町独自の文化財教育・文化財見学会を実施し、社会教育等では文化財や町の歴史に関する教室の開催、分かりやすいパンフレットの作成による啓発活動などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
黒岩小学校で卒業生(高校生)も含めて、「太刀踊り子ども教室」を開催し、高知県の無形文化財である「佐川の太刀踊り」の継承に取り組んだ。他にも斗賀野小学校児童による花取踊り(町指定無形文化財)や黒岩中学校で瑞応の盆踊り(県指定無形文化財)に児童・生徒が取り組み、地域の行事などを通じて成果を披露し、地域の伝統芸能としての位置づけを高めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		児童生徒が積極的に参加し、無形文化財の継承に取り組んではいるが、発表の場は地域の行事に限られている。今後は、町内での伝統芸能発表会の開催や、町外のイベント等への参加を検討する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
		←「四ッ白太刀踊り」 県指定無形文化財 黒岩地区の小中高生が積極的に参加し継承に取り組んでいる。 11月3日の仁井田神社の秋の大祭に参加し、小中学校の運動会でも披露している。	
		←「白倉神社花取踊り」 町指定無形文化財 斗賀野地区の小中学生が積極的に参加し継承に取り組んでいる。 11月12日の白倉神社の秋の大祭で披露している。	
		←「瑞応の盆踊り」 県指定無形文化財 黒岩瑞応地区が中心となり、瑞応盆踊りを継承していくため、中学生の指導にあっている。 8月16日は、夏休みで夜間のため、個人参加としている。	

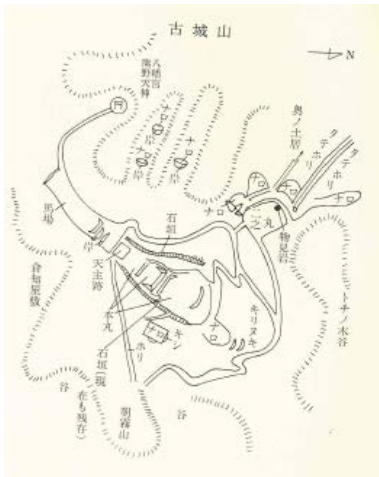
評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成27年度
項目		現在の状況
文化財の防災について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	現在も実施している所有者、地域住民、消防署、地区消防団が一体となった防火訓練も更に質量共に充実したものとしていく。加えて、「文化財防火デー」には、上記住民・団体及び文化財保護審議会委員等が各地区の文化財における防火訓練を実施しており、今後も継続していく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
重点区域内には自主防災組織が設立されており、地域の防災についての意識も高く、文化財防火デー(1月26日)には、消防署、消防団とともに防火訓練を実施した。 また、文化財パトロールなど、あらゆる機会を通じて、引き続き文化財の保存や防災の大切さについて関係者などに周知を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		南海地震の発生が予測されていることもあって、地域住民の防災について一定理解が高まっているが、今後も、引き続き、各地区を回り啓発活動をしていく必要があると思われる。
状況を示す写真や資料等		
▼1月26日 文化財防火デー 斗賀野地区白倉神社において防火訓練を実施した。   ▲ 1月26日 文化財防火デーの防火訓練には地域住民、地元消防団、消防署、文化財保護審議会が参加し、消防署員の指導の下、地域住民による消火器での初期消火訓練、消防署への模擬通報、地元消防団による放水訓練が行われた。 また、実地訓練終了後には、文化財保護審議会委員より、文化財保護の重要性を説明し、参加者は熱心に耳を傾けた。		

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
		現在の状況	
埋蔵文化財の取り扱いについて		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	機会あるごとに埋蔵文化財の持つ意義や重要性及び所在地を町広報やその他の方法により広く住民に周知する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
町内の主要な埋蔵文化財については、年1回パトロールを行い保存状態を確認している。また重点区域内の佐川城跡については、平成27年10月10日に文化財保護審議会委員(巡視員)とともにパトロールを実施し、昨年度の写真の比較や、目視により保存状態に変化はないことを確認している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		現在のところ埋蔵文化財について広く住民に周知するには至っていない。今後は町HPへの掲載や、住民向けの現地説明会等周知方法について検討したい。	
状況を示す写真や資料等			
 石積み部分には今のところ異常はみられないが、周辺の雑木による悪影響が発生しないよう伐採を予定している。			
 ◀ 佐川城址見取(昭和56年佐川町発行「わが町の文化財と旧跡」より転載)			

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成27年度
項目	現在の状況	
文化財の修理について 文化財の保存・活用を行うための施設について 文化財の周辺環境の保全について	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理及び整備については、定期的な清掃及び点検確認を行い、文化財巡視員による定期的なパトロールを実施する。 文化財の保存・活用を行うための施設は、財政状況との調整を図り、施設の改善計画を立て課題解消に向けて具体的に着手する。 文化財の周辺環境の保全については、まちづくり行政と文化財行政がより連携を強化し、文化財の周辺環境の保全を図っていくこととする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
「旧浜口家住宅」、「名教館」、「佐川文庫庫舎(旧青山文庫)」は、さかわ観光協会を指定管理者とし良好な状態で管理されている。 また、重点区域内の文化財の周辺環境は、地域住民やNPO法人、町観光協会により良好に保全されている。 なお、重点区域内における本年度の文化財の巡視結果において、緊急に修理の必要が生じたものはなく、良好な状態を保っている。 「旧竹村家呉服店」は、平成26年度～平成28年度の予定で現在、修復中。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	現在のところ、町立施設は概ね良好な保存状態であるが、今後においては、重点区域内に現存する歴史的建造物について大規模な修繕等が生じると予測される。引き続き支援策を検討していきたい。	
状況を示す写真や資料等		
 ▲ さかわ観光協会が管理する「佐川文庫庫舎」  ▲ さかわ観光協会が管理する「名教館」  ▲ さかわ観光協会の事務所がある「旧浜口家住宅」  ▲ 重点区域の文化財周辺の環境は良好に保全されている  ▲ 平成26年度～平成28年度で修復中の「旧竹村家呉服店」		

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
「探偵小説の父」しのぶ 青山文庫 雨村没後50年で企画展		平成27年5月24日	高知新聞
笑顔広がる観光地に		平成27年5月26日	高知新聞
西谷退三の蔵書展示「解体新書」初版も		平成27年5月27日	高知新聞
佐川の魅力 手拭いに 観光協会が3種発売		平成27年5月28日	高知新聞
町長が小中生に論語塾 名教館 先人の教え伝える		平成27年6月2日	高知新聞
観光客25%増		平成27年6月6日	高知新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地元新聞への掲載回数 12回以上。観光客の増加に伴い観光関連の記事、また、牧野公園への植栽等、牧野富太郎博士関連の記事が多かった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
口計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	重点区域の入込客数は着実に増加しているが、更に新たな取り組み等を報道してもらうことにより知名度をアップする必要がある。

状況を示す写真や資料等

「探偵小説の父」しのぶ
青山文庫 雨村没後50年で企画展



「佐川の魅力を伝える」をテーマに、高知新聞の「探偵小説の父」しのぶ 青山文庫 雨村没後50年で企画展を開催。雨村の没後50年を記念した企画展で、雨村の代表作「探偵小説の父」しのぶ 青山文庫 雨村没後50年で企画展を開催。雨村の没後50年を記念した企画展で、雨村の代表作「探偵小説の父」しのぶ 青山文庫 雨村没後50年で企画展を開催。

笑顔広がる観光地に



「佐川の魅力を伝える」をテーマに、高知新聞の「探偵小説の父」しのぶ 青山文庫 雨村没後50年で企画展を開催。雨村の没後50年を記念した企画展で、雨村の代表作「探偵小説の父」しのぶ 青山文庫 雨村没後50年で企画展を開催。

西谷退三の蔵書展示
「解体新書」初版も



「佐川の魅力を伝える」をテーマに、高知新聞の「探偵小説の父」しのぶ 青山文庫 雨村没後50年で企画展を開催。雨村の没後50年を記念した企画展で、雨村の代表作「探偵小説の父」しのぶ 青山文庫 雨村没後50年で企画展を開催。

観光客25%増 昨年度

佐川町 観光客25%増 昨年度

佐川町 観光客25%増 昨年度

佐川の魅力 手拭いに
観光協会が3種発売



佐川の魅力を伝える」をテーマに、高知新聞の「探偵小説の父」しのぶ 青山文庫 雨村没後50年で企画展を開催。雨村の没後50年を記念した企画展で、雨村の代表作「探偵小説の父」しのぶ 青山文庫 雨村没後50年で企画展を開催。

観光客25%増 昨年度

佐川町 観光客25%増 昨年度

佐川町 観光客25%増 昨年度

町長が小中生に論語塾
先人の教え伝える



佐川町 観光客25%増 昨年度

佐川町 観光客25%増 昨年度

観光客25%増 昨年度

佐川町 観光客25%増 昨年度

佐川町 観光客25%増 昨年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
牧野公園で植物学ぶ 高知市の児童ら植栽体験	平成27年7月30日	高知新聞
8月19日ちなみ 風情ある俳句会	平成27年8月20日	高知新聞
住民育てた苗 牧野公園に 富太郎ゆかりの150種	平成27年9月24日	高知新聞
佐川の恵み 味わって 浜口邸であす限定カフェ	平成27年11月12日	高知新聞
光の芸術にうっとり 「酒蔵ロード劇場」盛況	平成27年11月30日	高知新聞
佐川ゆかりの先人紹介 青山文庫 植物画など30点展示	平成28年1月20日	高知新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☐ 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

[illegible]

佐川の恵み味わって
洋菓子 浜口邸です限定力

[illegible]

牧野公園で植物学
高知市の児童ら植栽体験



子どもたちが牧野公園にヒメボタンの苗を植栽した
(佐川町甲)

申の野郎(高橋)
市野内小生らに植
いすてつて学ん
イオが全国の店
で行っている小
中

生食後の環境を
ジェクト・ア
「スクラップ」
調、高知旭店の高
を林業関係、木
の駅ひ
が、中とな
支援した。
毎年、学
れており、今
は

一棟、カ
屋敷の小
10人

園の植
れられ
の寄
の寄
が

の罰を受けた。
 体験者ではヒスポ
 タンの苗約30株を植え
 たり、前年、植栽した
 ノカンノウの周囲で草
 を引いたりした。昨年
 に競い、参加した天津
 小年の井本陽子さん
 ん10は「ノカンノウさ
 んはちゃんと成長してい
 います。ヒスポタムもま
 ったく伸びてはじ」と
 話していた。

（吉川博之）

8月19日ちなみ
風情ある俳句会
佐川町で50人楽しむ

【佐川】高岡市佐川町内、俳句愛好者が、市内の俳句会「九」は、10代の参加者が多い、俳句仲間が広がりは、と期待して、たまたま一席に当たった。佐川（いっかく）興の名（な）は、司牡丹部長、竹村節太郎部長、高岡市「高知の」の社長（しやう）を「高知」となり、一が選ばれた。（三）

27

車山の山野軍のめてなう通司をした「佐川八一丸の会」（佐川町の名産）

住民育てた苗 牧野公園に

富太郎ゆかりの150種
群生目指し植栽進める

[illegible]

幻想的な影絵と音楽が訪れた人々を楽しませた（佐川町甲）



光の芸術にうつり

「酒蔵ロード劇場」盛況 佐)

〔市〕高都郡 同 今年は白蓮華
野町上町並み 夕ラネッナ着たの壁に映し出される
夜、吉町芳菊を縁も脇ひ、縣は方
で彩る「酒一口」劇 中、影され、ラ
場が行われ、多のお行われるな、彩
人ならぬ温かき 僅か用意された
の落着きある、実 一 酒罷るは角
行儀者の催 一 酒罷るは角
初、絵作の酒數 一 酒罷るは角
美しさ、整麗麗麗 一 酒罷るは角
市井住民の交遊が、一枚の切絵數
ついで始り、一 酒 軒の屋と聞へる
斜めと白蓮華
やと散る白蓮華
の壁に映し出される
中、夕ラネッナ着た
イオリ、藝者がシ
ツク高き藝た。

佐川ゆかりの先人紹介

[illegible]

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 27年度

項目

歴史的風致維持向上計画重点区域の観光客数推移について

計画に記載
している内
容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

重点区域への観光客数は順調に伸びている
 平成25年度 8,525人 (カウント開始は9月から)
 平成26年度 16,683人
 平成27年度 20,566人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画の進捗に影響あり
☐計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

施設別

	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27
青山文庫	1,678	1,982	2,663	2,413	3,392	3,571	4,180	5,317
まち歩きガイド				484	1,339	5,254	4,585	3,464
旧浜口家住宅 (観光協会)						8,525	16,683	20,566

当該区域入り込み数は、旧浜口家住宅を計測

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成27年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成27年度第1回佐川町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時:平成27年9月1日	
(コメントの概要) 委員: 竹村分家旧竹村呉服店は、耐震・修復工事が済んだら、旧浜口家住宅と同様に国登録有形文化財となるよう文化庁に働きかけてはどうか、かつ、同様に歴史的風致形成建造物に指定するよう進めてはどうか。同住宅は、歴史的建造物として、構造的にも物語性においても、それだけの価値を持っていると思う。また、同住宅の活用方法については、保存と一般公開を原則としながら、みんなで十分論議することだと思う。拙速で答えを出すと禍根を残すことになる。 そうしたことが、佐川の歴史的風致維持向上計画に賛同して、この建物を町に寄附してくださった方の気持ちに応えることになると思う。	
(今後の対応方針) 竹村分家旧竹村呉服店は、国登録有形文化財及び歴史的風致形成建造物の指定に向けて作業を進める。また、その活用方法については、保存と一般公開を原則と踏まえつつ、一定のタイムリミットを設けて決定する。	